

# 「新・市立大学」の使命と行動

「第二期中期目標期間においてめざす大学像」

平成23年 6月 8日  
公立大学法人大阪市立大学

目 次

はじめに(18歳人口の推移について).....	1~2
<b>第1章 今、求められる市立大学の使命(ミッション) (P.3~10)</b>	
1. 市大の使命を考える視点.....	3
2. 社会が求める人材を育成.....	4~7
3. 大阪市の大学.....	8~10
<b>第2章 使命を果たす3つのアクション(重点3戦略) (P.11~17)</b>	
1. 3つの戦略を進める視点.....	11
2. 重点3戦略の意義と内容.....	12~16
3. 重点戦略をわかりやすく効果的に進めていくために.....	17
<b>第3章 戦略を支える安定的運営をめざして (P.18~20)</b>	
<b>第4章 まとめ ~10年後の市大の姿~ (P.21~23)</b>	

## 18歳人口の推移

### ● 大学教育の状況 ⇒ 少子化、全入時代

・ 18歳人口の減 1960年度200万人 → 2010年度122万人

全国的には当面は漸減傾向

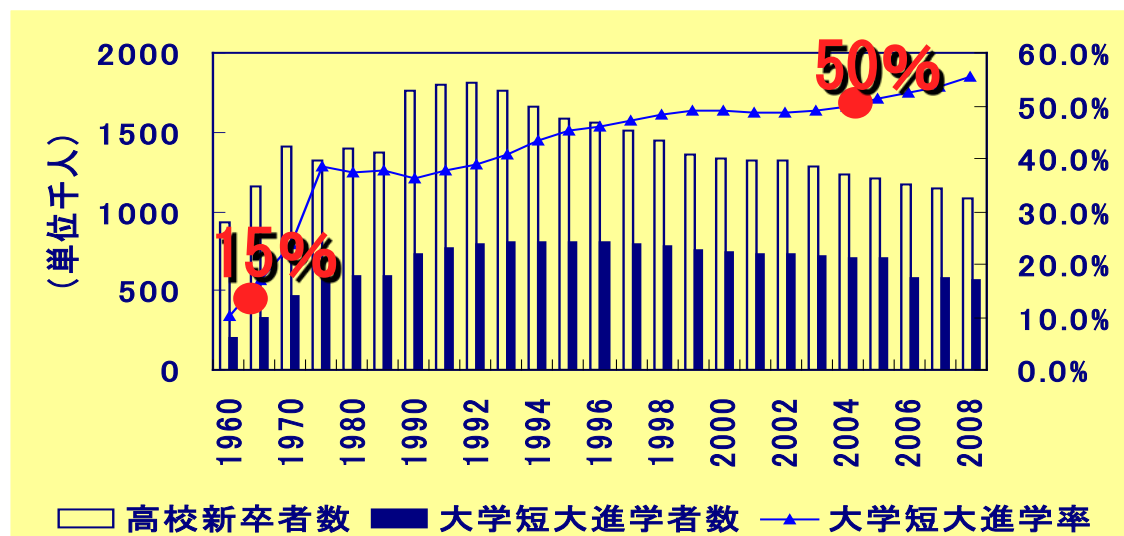
大阪府は短観的には増える傾向

・ 60%近い大学進学率 → 増傾向

大学短大定員の増 1990年度60万人 → 2007年度67万人

大学間競争を戦う(決して私学だけの問題ではない)

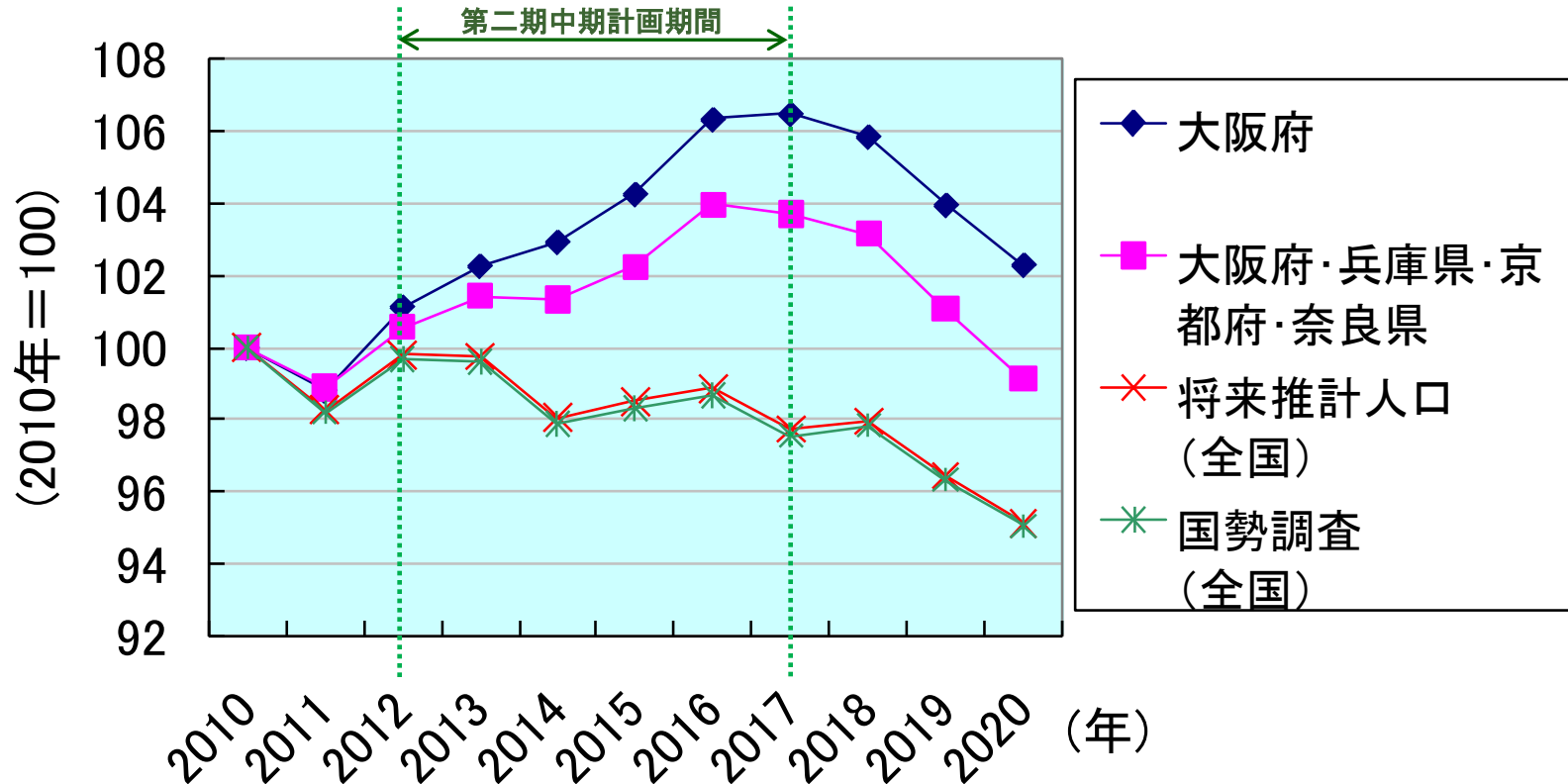
一方で、大学短大進学者数は減っている。



出所:「文部科学省(2008)」

さらに・・・入学者の能力・適性や志向の多様化、社会人や留学生の増加

## ●大阪府の18歳人口の予測



(出所)『国勢調査』(2005年)

「将来推計人口」のみ国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2006)

(注)2005年時点での年齢別人口を用いて、その後、死亡や移動がないものと仮定して予測している。

**第二期中期計画期間(2012~2017年度)では増加するが、その後急激に減少する。⇒第三期に照準を当てた目標の必要性**

# 第1章 今、求められる市立大学の使命 (ミッション)

## 1. 市大の使命を考える視点

- 大学の基本的役割である人材育成と公立大学の使命である地域への貢献の二つの大きな視点
- 人材育成については、日本を取り巻く国内外の社会情勢を踏まえて、広く社会が求める人材を育成していく視点
- また、将来の大阪市や関西の社会をリードし、地域で活躍する人材を育てる視点
- 公立大学の使命として、研究やその地域への還元にあたっては、「大阪市」を核とした「関西圏」を視野に入れ、都市の施策に貢献する視点

(さらに)

- ⇒公立大学の試練として、大学間競争の前に、福祉や防災など他の施策と競合して財源を獲得しなければならない制約がある。
- ⇒すなわち、大学が市民や市政に必要なことの説明責任を果たす視点

## 2. 社会が求める人材を育成

⇒どんな人材が求められているか

### ①グローバル人材

社会人基礎力に加え、外国語でのコミュニケーション力や異文化理解・活用力を有する人材

- 国内市場の相対的規模の縮小と、東アジアを中心とする海外マーケットの急成長
- 日本と東アジア諸国における技術格差の縮小⇒日本と東アジアの分業体制の変化

日本企業の海外マーケット進出促進とパフォーマンス向上のため

「グローバル人材」の育成 = 「人材の国際化」が不可欠

⇒ まず「日本国内の人材の国際化」の必要性

## ②知識基盤社会を支える「21世紀型市民」

専攻分野の専門性だけでなく、幅広い教養を身につけ、高い公共性・倫理性を保持しつつ、積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材(市民)

### (国家戦略)

支える人口の減少 ⇒ 支える個々を強くする必要性  
⇒ 国民全体に質の高い教育の保障、厚みのある人材層の形成が不可欠

### (企業が求める)

企業活動の広がりや、実績のある人材の急激な減少(退職)に対応するため

⇒「事務屋」「技術屋」の枠を超えた、「広い視野」を持つ専門性の高い人材

閉ざされた日本社会ではなく国際的契約社会で戦うため

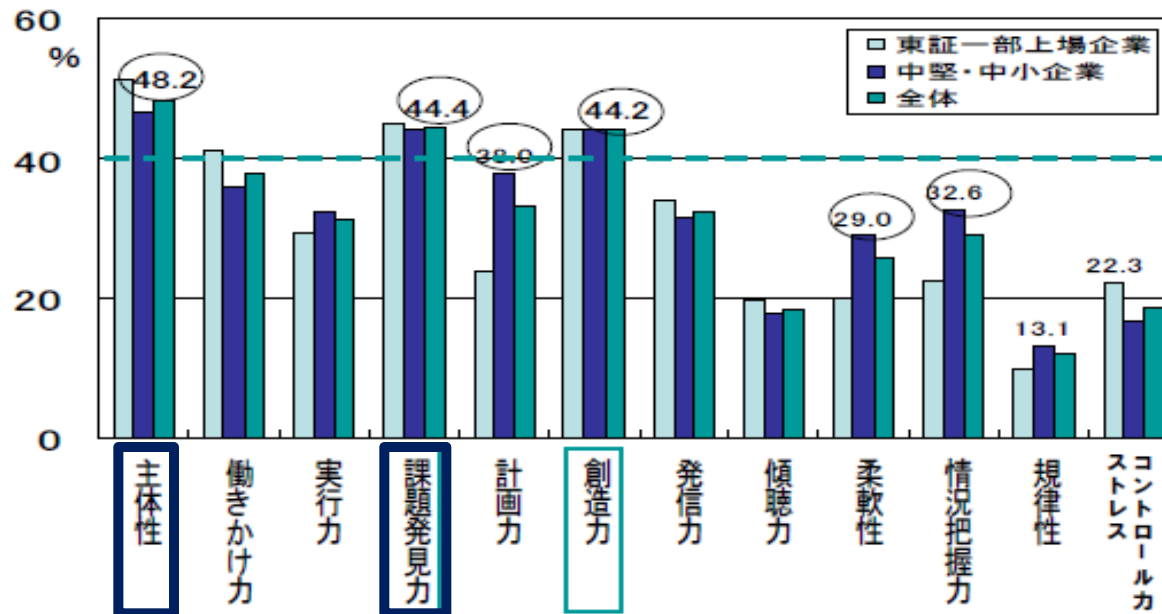
⇒高い「論理力」を持つ人材



### ③社会が求める「主体性」「課題発見力」「発信力」

- ・新入社員は**主体性**や**課題発見力**が不足しているという評価
- ・市大生のイメージ＝「おとなしい、主体性・発信力が弱い」の払拭へ

若手社員において「特に不足が見られる能力」と「社会人基礎力」を構成する12の能力要素との関係の深さ



出所：『企業の「求める人材像」調査2007～社会人基礎力との関係～（経済産業省）』

●「求められる人材」の育成には、市大の特徴が有効

市大の特徴

- ・コンパクトな総合大学
- ・少人数教育

具体的には・・・

- ⇒高大接続からキャリア支援まで一貫した教育
- ⇒語学力の向上、グローバル的視点の育成
- ⇒少人数教育を生かした主体性、発信力の強化
- ⇒「総合大学」のメリットを生かした広い視野を持つ専門人材の育成

加えて、

人材育成の成果「何を習得したか」の「見える」化

★(使命1) 社会が求める人材を育成し、「市立大学は偏差値だけでなく、教育成果で選ばれる」という評価の獲得

### 3. 大阪市の大学＝都市科学研究の推進と地域貢献力の強化

(「我が国の高等教育の将来像」(平成17年中教審答申)

- ・設置者である地方公共団体の人材育成等の各種の政策をより直接的に体现する側面
- ・地域における社会・経済・文化の向上発展への貢献から国際社会への貢献まで幅広く、様々な教育・研究・社会貢献のより一層の強化が求められる

#### ①シンクタンクの役割を果たす

(総合大学のメリットを活かした都市研究)

##### シンクタンクの機能

##### ●行政の審議会等へ参画する

＝これまでのシンクタンク

しかしながら、大阪市の各部署と教員の個別対応であり、  
全学的視点、大学運営との一体感の欠落

⇒貢献している姿が俯瞰できていない

##### ●自治体からの具体的な政策課題研究の要請を受け、分析答申する

＝これまでも都市研究プラザ等で取り組んできた

##### ●大学側から、市の長期戦略等を研究し市へ提言する

(中教審答申)

- ・「知識基盤社会」において、誰もがいつでも自らの選択により学ぶことのできる高等教育の整備、「ユニバーサルアクセス」の実現の重要性
- ・社会人が必要に応じて高等教育機関で学び、その成果をもってさらに活躍する「往復型社会への転換」＝「21世紀型市民」の高度な学習需要への対応

## ②地域や大阪圏発展に貢献する高度な専門職の育成

- ・大阪市が進める市民協働の視点→地域力強化のための地域リーダーの育成
- ・関西経済の復興→アジアを睨んだ関西の各界をリードする人材育成  
(大阪市経済成長戦略にも織り込まれている「高度専門職の育成」)

**大学院を中心とした社会人のキャリアアップ**

## ③わかりやすい大学の「知」の発信拠点へ(市民が直接「知」に触れる機会の充実)

市民講座、市民医学講座、区民セミナー……

大学の方向性に沿った、

**系統的でわかりやすい「知」の発信⇒開かれた大学**

## ④社会的課題に速やかに対応する

〈例〉

- ▶ 震災後の危機の時代に市大は何ができるのか  
⇒ 都市防災の総合的研究
- ▶ 地球規模のエネルギー問題の解決に向けて市大は何ができるのか  
⇒ 次世代エネルギーの研究  
(複合先端研究機構による光合成研究の発展と実用化)

### ①～④を効果的に発信

### やっている地域貢献が効果的に「見える」大学

大学の諸活動を見渡して、

ステークホルダーに応じた時機を得た情報発信

⇒ 大学活動との一体感のある広報戦略

★(使命2) 「市大は地域貢献力が高く、大阪市や関西の発展、市民にとって頼りになる」という評価の獲得

## 第2章 使命を果たす3つのアクション (重点3戦略)

## 1. 3つの戦略を進める視点

### ● 使命からめざす視点

- ・社会が求める人材育成に的確に答えられているか  
⇒「大学で何を得られるか」で選ばれる大学
- ・大阪市、関西圏への貢献  
⇒大阪市民に支えられ、市民の誇りとなる大学

### ● 効果的に実施していく視点

- ・コンパクトな**総合大学のメリット**を活かす
- ・運営方針に沿って**選択と集中**を行う
- ・**一体感のある**大学運営を行う
- ・取り組みの具体的内容を**わかりやすく発信**する

## 2. 重点3戦略の意義と内容

### ①大阪市のシンクタンク、「都市科学」分野の教育・研究

#### <なぜ必要か>

- ・大阪市を核とした関西圏の発展を考えると、様々な都市問題を抱える大阪市が存在し、その危機に正面から取り組む必要性
- ・社会の複雑化、ライフスタイルの多様化等により多面的な支援が必要な行政施策に市民の総合大学として貢献するため
- ・研究の高度化により特定の研究領域ではカバーできない広がりがあり、横断的研究が必要なため

#### <何をするのか>

- 全学的なシンクタンク窓口の設置
- 理系と文系の垣根を越えた「都市科学」研究
  - ・大阪市の機関との連携強化(研究機関、博物館 等)
  - ・大阪市職員育成への関わり(工学研究科 等)
- 先端技術と地域産業振興に軸足を置いた産学連携
  - ・大学病院の人的・技術的資源を市民の健康づくりに活用



## ●市大の研究の方向性

- ・都市に関する研究の複合と発展
- ・最先端研究の更なる推進

### <理系と文系の垣根を越えた「都市科学」研究の具体的内容>

- ・都市研究プラザにおけるG-COE研究から発展した都市問題研究の展開
- ・複合先端研究機構における人工光合成研究等の次世代エネルギー研究の発展
- ・研究領域を超えた複合研究の推進

#### <例>

- ・大震災の影響を教訓に安全な都市「大阪」をめざす都市防災研究
- ・就労支援と生活保護をはじめ、基礎自治体における生活のセーフティネットに関する複合的研究
- ・ストレスの多い都市社会で元気に働き続けられる予防医療、抗疲労の研究→関連産業の発展も視野
- ・健康格差と社会経済の関連を究明する複合的研究

## ②専門性の高い社会人の育成

### 〈なぜ必要か〉

- ・高い専門性ととともに幅広い教養をもち、積極的に社会を支え改善していく資質を持つ「21世紀型市民」の育成が求められているため
- ・社会、企業から「論理力」「発信力」をもつ専門人材の育成が求められているため
- ・多様化する社会での専門資格職のニーズと不況下の就職戦線での資格職の魅力に対応するため
- ・大阪市の「経済成長戦略」で求められている地域や社会で活躍する専門性の高い社会人を育成するため
- ・社会人教育や市民講座等を通じて「市民の大学」の浸透を図る必要があるため（見える市民貢献）

## 〈何をするのか〉

- ・ 創造都市研究科、生活科学部における地域活性化人材の育成
- ・ 専門的医療人材等の育成
- 大学院教育改革を推進し、「総合大学」のメリットを活かした「広い視野と高い専門性」をもつ人材の育成
- 中等教育から専門教育、キャリア支援まで一貫した人材育成（高校との連携強化、キャリアデザインシステム）、高大連携窓口の設置。
- ・ 少人数教育を活かした主体的行動力を持つ人材育成、きめ細かい学習支援
- ・ 文学部による語学力のある大阪の文化資源開発に関わる人材の育成
- ・ 市民講座の集約と「見える化」による戦略的展開（「市民大学」構想）

### ③国際力の強化

#### 〈なぜ必要か〉

- ・グローバル化が進展する世界の中で、相手の価値観等を理解し互いに有益な価値を生み出すことができる「グローバル人材」を育成するため
- ・大阪市の国際力の向上に貢献するため  
(内閣府調査：大都市圏の国際競争力を高めるためには、高い能力を持った人材確保、研究・技術開発の推進、海外との人的交流が必要)

#### 〈何をするのか〉

- 共通教育、専門教育、大学院教育の各レベルに応じた英語による教育の充実
- グローバル人材を育成する「グローバルコース」等の設置
- 海外の大学との研究者交流の拠点化(ハブ化)
  - ・ 留学生の増員、卒業留学生のネットワーク化
  - ・ 若手研究者や学生の海外派遣の充実、留学希望者への支援
  - ・ 海外派遣危機管理の強化

### 3. 重点戦略をわかりやすく効果的に進めていくために

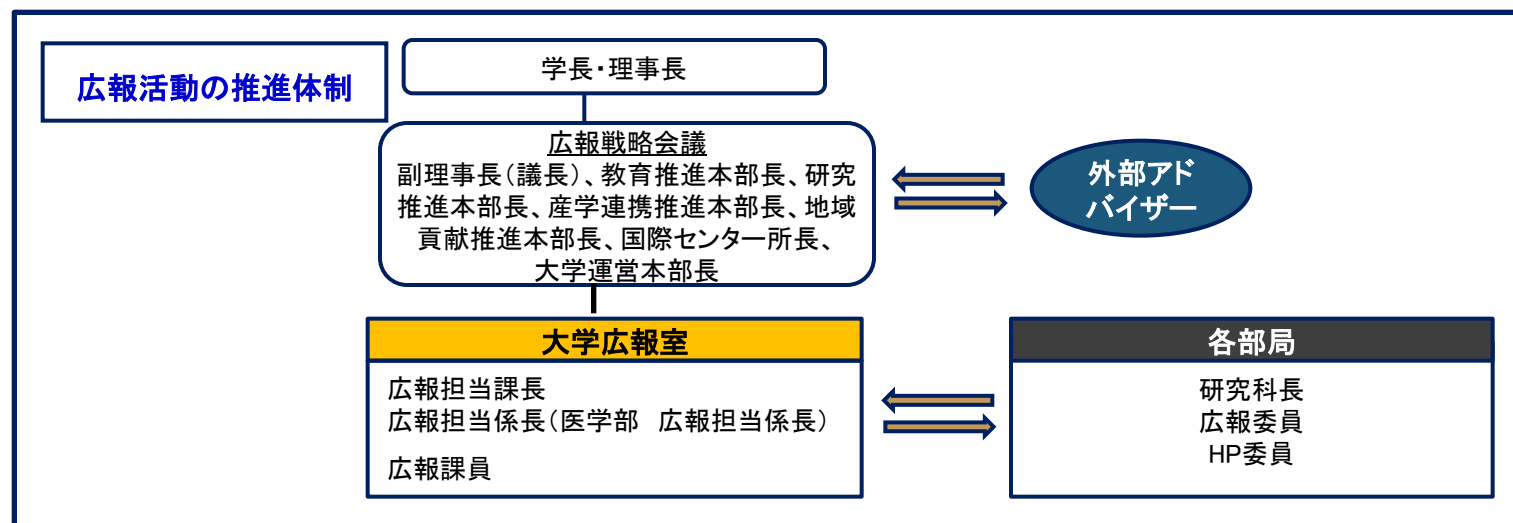
- 戦略に沿った一体的な大学運営

＝学長のリーダーシップ強化、ガバナンス強化、学長を補佐する組織強化

- 見える化 ＝ 大学情報の集中とステークホルダーに応じた的確な発信

大学広報室を中心とした戦略的広報

(ホームページの充実、定期的な学長記者懇談会 等)



# 第3章 戦略を支える安定的運営をめざして (6つの経営改革)

### ①より効率的な運営を行うために

- ・学生サポートセンターの業務検証と充実⇒さらなる標準化、効率化の推進
- ・全学業務実態調査に基づく継続的な業務改編の取り組み

### ②組織を支え活性化させる大学人を育成するために

- ・法人固有の人事給与制度や評価制度、昇任制度の構築  
⇒経験年数の低下と多彩なキャリアを持つ職員の増への対応
- ・特任教員制度、キャリアスタッフ制度の改革
- ・他大学との人事交流制度
- ・教員の研究に精通した専門性を備えた職員の育成

### ③総合大学のメリットを活かした教育研究を効果的に進めるために

- ・研究科の枠を超えた融合
- ・大学がめざす人材育成を全学的に進める教育体制の構築

### ④安定的な財政基盤を構築し、教育研究の質を維持するために

- ・最先端技術の活用による産学連携の推進や、東京に情報拠点を設置し  
その活用による外部資金獲得
- ・環境対策、省エネルギー推進など、目標数値を定めた管理的経費の  
継続的縮減



### ⑤自律した法人として運営力を高めるために

- ・公立大学法人の制約の撤廃へ向けた取り組み  
（大阪市や他法人との連携、東京拠点の活用 等）
- ・退職金や施設整備費等の未整理事項の整理
- ・卒業生、保護者、寄附者等のステークホルダーとの連携強化  
「(仮)市大サポーター制度」

### ⑥「安心」して教育研究活動を推進できる「安全」な大学づくりをめざして

- ・耐震改修の計画的実施や効果的な防災組織構築と訓練の実施など  
による防災対策の充実
- ・国際交流の危機管理や実験室等の安全対策の充実

## 第4章 まとめ ～10年後の市大の姿～

安定的で自律した経営基盤の形成  
(経営改革)

コンパクトな総合大学の  
メリットを活かしな  
がら取り組む

使命  
(ミッション)

・社会が求める人材育成

「グローバル人材」、「21世紀型市民」、「主体性、発信力、論理力」

・都市科学研究の推進と地域貢献力の強化

「シンクタンク機能」、「地域に貢献する高度専門職育成」、  
「社会的課題に速やかに対応」

重点戦略  
(アクション)

①大阪市のシンクタンク、「都市科学」分野の教育・研究

②専門性の高い社会人の育成

③国際力の強化

### 具体的プロジェクト

- ▶ 外国語教育の充実によるグローバル人材の育成や、大学院教育の改革・・・ etc.
- ▶ 都市が抱える課題への複合的な研究と発信（エネルギー問題、環境問題、都市防災、福祉・健康課題・・・ etc.）

### 10年後の市大の姿

- ・高度な教育や先進的で卓越した研究を推進し、積極的に入学したい大学として選ばれ、社会が求める人材育成の成果が見える大学
- ・都市の諸課題の解決に向けて積極的に取り組み、大阪市を核とした関西圏の発展や国際化をリードする大学

## 市大の将来像

- ◆ 国際色豊かな人材が集い、学び、グローバルセンスを育んだ市大人在世界各地で躍動する、日本・アジアはもとより世界に広がる大阪市立大学
- ◆ 都市防災、次世代エネルギーとしての人工光合成、抗疲労・健康科学などの高度で先進的な市大ブランドの研究を推進し、その実用化により関西から日本の経済発展を支え、人類の幸福を追求する大阪市立大学
- ◆ 普遍的な真理の探究とともに、都市や市民からの「知」の要請に、学術的・組織的に取り組み、新しい「知識基盤社会」を牽引する開かれた大阪市立大学